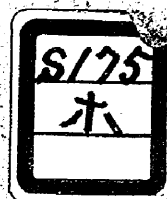


社格昇進願

埼玉縣八郡堀兼村鎮座
村社堀兼神社



10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20



社格昇進願

入間郡堀兼村大字堀兼鎮座
村社 堀兼神社

一祭神

木花開耶姫命

天照皇大神

素戔嗚男命

倉稻魂命

大山咋命

迦遇突知命

天神七代命

當社ハ畏クモ第十二代景行天皇ノ御代日本武尊御東征ノ砌リ東國ニ涉ラセラレ總ノ國ヨリ御凱旋途次當郷ニ御遺蹟堀兼の井ト共ニ當社ノ祭神ヲ奉齋シ給ヒシ所ナリト傳ヘ井ヲ堀兼の井ト呼ビ社ヲ堀兼井淺間社ト稱奉リ(添付書類第一號)爾來近郷ノ人士當社ヲ崇敬スル者頗ル多

ク且ツ慶安三年時ノ領主松平伊豆守信綱公當社ニ武運
長久ヲ祈願シ其臣長谷川源九衛門尉源遂能ニ命シテ社
殿ヲ再興セラレ(添付書類第二號)又信綱公ノ嗣子伊豆守
信輝公深ク當社ヲ崇敬セラレ特ニ當地山林拾有餘町歩
ヲ除地トナシ祭祀ノ料トシテ當社ニ附セラル之ヲ淺間免ト
稱シ(添付書類第三號)歷代藩侯孰レモ先規ニ依リ除地ト
シテ之ヲ附セラル次テ同川越ノ城主秋元但州侯ハ家臣岩田彦
助ヲシテ後世ニ史蹟振興ノ井ヲ傳ヘントシ神社境内ニ其碑ヲ
建テシメ(添付書類第四號)前ノ侍講清原三位公ハ詩ヲ賦
シ當社ニ奉リ氏子宮澤定七石ニ刻シテ之レヲ建テ(添付書
類第五號)文政七年三月式年大祭ニ時ノ領主川越藩主松平
大和守ヨリ葵御定紋付提灯使用方差許サレ(添付書類第六號)
武藏國足立郡大宮宿鎮座當國一ノ宮氷川明神神主岩井伊豫

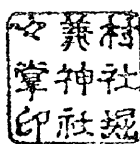
守祭主トシテ同大祭ニ奉仕セリ添付書類第七號)降テ明治御
維新ニ際シ伊豆守御寄進淺間免ハ上地セシメラレタルモ明治
四年其筋ニ於テ御社格制定ノ爲メ神社御取調ノ砌當社ハ
御由緒正シク而モ領主代々御崇敬厚ク廣ク郷邑譽ゲテ
崇敬アル神社ナルヲ以テ川越縣ニ於カレテハ入間郡第三大區ノ
郷社ニ列セラレ候(添付書類第八號)慶應明治五年更ニ御社格
改定ノ節村社ニ列セラレ今日ニ及ビ氏子崇敬者ハ深ク之レヲ
遺憾トシ爾來一意專心神社崇敬上諸般ノ設備完整ニ
努力シ先ツ境内ヲ擴張シ近郷ノ小社ヲ合祀シ社殿及隨身
門鳥居玉垣神樂殿社務所等ヲ造修シ基本財産ヲ蓄積
シ將來神社維持上差支無之様基礎ヲ確立シ御維新後
單ニ淺間神社ト稱シタルヲ其筋ヘ出願シ古ヨリ堀兼井淺間社
ト稱シタル由緒則リ堀兼神社ト改メ祭祀ハ往昔ノ如ク嚴肅

盛大ニ村治ハ勿論教育兵事産業ニ至ルマデ總テ神社中心ノ主
義ヲ以テ神威神德ノ發揚ニ力メ曩ニ埼玉縣知事閣下ニ撰
文並ニ揮毫ヲ請ヒ當社ト密接ナル關係ヲ有スル史蹟振興の
井ノ由来ヲ誌シタル傍示板ヲ調製シ神社境内ニ掲ゲ以テ神
社ノ御由緒ヲ明ニスルト共ニ史蹟振興の井保存ニ力ヲ致シ尚
境内ニ存スル名木保護保存ノ施設ヲ了シ明治五年以來永
年ニ亘ル氏子崇敬者一同ノ熱誠ナル努力ニ依リ茲ニ漸ク神
社ノ施設全ク完備シタルヲ以テ今回氏子崇敬者熟議ノ結果
多年ノ宿願タル御社格相等昇進ノ義特別ノ御詮議ヲ以テ
速ニ御聞届被成下度附屬書類相添ヘ關係者以連署此段
奉願候也

昭和二年三月二十九日

右神社々掌

稻生三郎



今氏子總代

宮澤文平

室岡林平

平沼久太郎

尾崎忠七

筋野禎輔

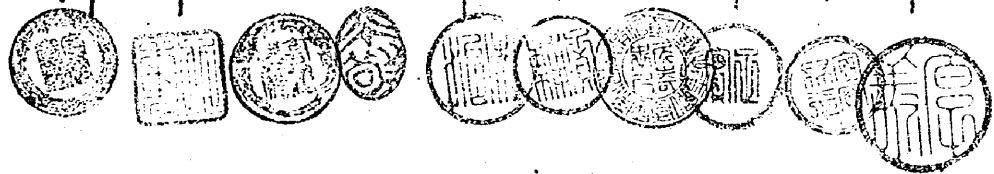
市川治三郎

平沼敬亮

高橋英作

北田奥太郎

室岡彦治郎



松本貞一郎
 松本保平
 真富伊三郎
 粕谷榮次郎
 國田直次郎
 三木百太郎

埼玉縣知事齊藤守國殿

添付書類第一號

社ヲ振兼井淺間社ト稱ヘ奉リシ引證

棟札表面寫

ニ子振兼井淺間社

延寶六年戊午林鐘吉祥日

三芳山廣福寺高松院堅者法印憲海謹記

當社者雖為古來之靈場廢一年久于茲
 暨松平伊豆守信綱公御領之時河越町奉行
 長谷河源右衛門尉始奉建立宮殿二字訖于時
 慶安三年也信綱公之嫡孫伊豆守晴綱公御領歸
 淺間宮。被允除之稻荷出神安名
 以上三座之神本社淺間宮既經星霜漸及損壞
 且殿制依為狹小今度某憲海新奉造進神殿者也

舊高松院三芳野氏文書（川越市圖書館藏書）

振蕪井淺間社

當社者雖為古來之靈場廢一年久于茲既且松平伊豆守信綱公御領之時河越町奉行長谷川源右衛門始奉建一立宮殿宇訖于時慶安三年竣也（甲戌年迄甲午年也）信綱公之嫡孫伊豆守晴綱公信輝御領ノ節淺間宮居上下之地被免餘之稻荷山神愛宕以上三座之神為末社淺間宮既經星霜漸及損壞且殿制依為狹小今度某憲海新奉造進神殿者也

延寶六年林鐘吉祥日

河越三芳山廣福寺高松院暨者法印憲海謹記

添付書類第二號

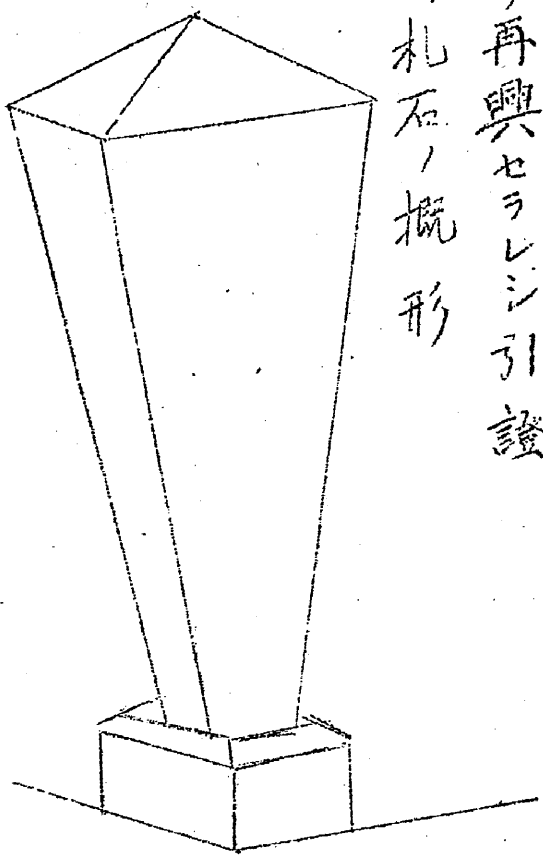
社殿ヲ再興セラレシ引證

棟札石ノ概形

高廿三尺九寸

頭八寸角

根五寸角



棟札石ノ文字（正面）

慶安三年藤原朝臣長谷川源右衛門尉

凡奉建淺間宮宇恩延命子孫繁榮攸

五月吉祥日 別當川越城内三芳山廣福寺高松院所

三部都法大阿闍梨監憲海代

大工

次

石

子

名主 半兵衛
目 太右衛門

御宮地形已上五百人

近所惣百姓

同上（向テ左側面）

松平伊豆守侍從信綱公

堀兼井昔者雖為名野中絶畢武州入間郡川越庄拜領時

長谷川源右工門中興也

同上（向テ右側面）

延宝二甲刀天

長谷川源右工尉
大嶋九源太内女

弘治奉寄進棟札石武運長久子孫繁昌攸

九月十八日

江目平岳衛内女
三浦十右工尉

同上（裏面）

石ヤ

太郎岳衛

棟札石石摺

表面左右面裏面計四枚

三芳野名所舊跡記

淺間社入間郡内堀兼村ニ在此社ハ慶安三年松平伊
豆守御建立ナリ川越ノ南二里餘アリ堀兼ヲ堀金ト書ク
ハ非ナリ

三芳野名勝圖繪 下

堀兼の井は河越の南二里餘堀兼村ニ有此村に往古
より淺間の社あり因て淺間堀兼とも云今之淺間社
ハ慶安三年伊豆侯本社拜殿共に御建立也

武藏演語

當郡名高き名所

堀金村

此所を淺間堀兼といふ

堀兼村の小高き山に淺間大権現在

新編武藏風土記稿

百六十三
入間郡九

堀兼村

淺間社

高サ二丈許ナル塚上ニアリ石段ヲ設ケテ
其ノ下ニ仁王門及社守ノ庵ヲ建ツ

神教叢語

日本武尊ハ景行天皇ノ皇子ナリ天皇ノ詔ヲ奉シテ東西ノ叛賊ヲ平ケ暴彊ヲ誅シ教ヲ施シ諸國ニ神祇ヲ祭リ帝道ヲ宣給フ故ニ歴所ノ地悉ク其社ヲ建テ崇祀セザルハナシ諸國里人談

武藏國入間郡堀兼村ハ小高き山ヲ淺間宮の麓ニすナリ窪める所ハ堀兼井の跡あり

武藏野話

堀兼村ハ在其地の鎮守淺間の祠ありて中今淺間の祠の在所云々鎮守と崇め云々

添付書類第三號

淺間免ノ引證

舊高松院三芳野氏文書(川越市圖書館藏書)

堀兼 淺間社地

別當 高松院

一貳百間

拾貳町參段參畝拾步

淺間免

一百八拾畝

一六拾六間

六反壹畝拾八步

愛宕免

一廿八間

一六拾間 六及六畝
一三拾間

稻荷免

一六拾六間 貳町貳反
一百間

下淺間免

右四口合拾五町八反貳拾八步

右三内三反三畝十步八畑殘リハ草野十五町四反七畝十八步

延寶三卯曆四月日

石川勘右衛門

右淺間免野畑共ニ除地帳主川ノ御座ル

名主半左衛門

振兼井淺間社

當社ハ雖為古來之靈場廢一年久_レ千茲暨松平伊豆守信綱
公御領之時河越町奉行長谷川源右衛門始奉建立宮殿
一字訖千時慶安三年廢也_{（甲戌年迄四十五年也）}信綱公之
嫡孫伊豆守晴綱公_{（後）}輝御領之節淺間宮居上下之
地被免_{（除之）}稻荷山神愛宕以上三座之神為末社淺間
宮既經星霜漸及損壞且殿制依_{（テ）}為狹小今度
憲海新奉造進神殿者也

延寶六_{（戊午）}林鐘吉祥日河越三芳山廣福寺高松院堅者法印憲海謹記

入間郡堀金村明細帳

一延寶三^{乙卯}年松平伊豆守様御檢地帳有之候

一富士淺間^寺之^所西^面川越御城内高松院支配

御免地拾貳町三反六畝拾貳步 上淺^召免 宮守殿祔

御免地貳町貳反六步 下淺^召免

御免地壹反六步 編^河免

右下淺^召免^河免^之步^之先^前ノ宮守様檢地帳外

一山王宮^之所^西面 古村^東宮^東免^寺支配

御免地壹反六畝

右書上申^以通^少相違無^付存^上

明和子年^{五月}

入間郡

堀金村

惣^目仁右衛門

五友
勤學
武藝

武州石郡堀金村明細書上帳

一延宝三乙卯年和伊豆守様御檢地 堀金村

二富士淺宮社
寺々所
但或召四面

市域内市役所支配市座小

一齊先地檢武所三反古敵檢武步 富士淺田先

一、同部所部反下
下燄石先

一
同
分
反
下

福
壽
先

山王社
事務所
但九尺四面

此御外地亭及三級下當時亦言宗光集寺支配

保下賤，以福存之。夫八年，以宮守扶持方，居成以。

右者當村明細書，出中上，以回少，或相違，無庸，庶不為後日依此件。

武州入馬郡堀金村

天保十一年十二月

万姓代 七ノ音衛印

名 淡右衛門印

い 深沼印

名

宮保音右衛門印

武藏國入部郡堀倉村明細帳

弟應元壬辰年松平伊豆守様御代御檢地

一富士浅田 五ノ所 但武右四面

御城内宮松院支配御座

一御免地檢武右三反七畝武右 富士浅田

一田 武右武右 下浅田

一田 六反 堀倉免

右下浅田免堀倉免之弟若免前ノ宮守扶持方ニ申上

一山王社 五ノ所 但九尺四面

此御免地及三畝

吉村吉之宗

光英寺支配

右ノ通明細取調書上申上通相違無御座以上

慶應三年四月

堀倉村

町代 武兵衛
貞久 田舎
名主 定七

堀兼村 浅沼神社 除地及別帳
除地及別帳式所三及六畝於式步 浅沼神社

内

一七及五畝於式步

境内引

一八及步

農業作場道引

一畝及步

悪水溝代引

残拾所古及上畝於步

上地

除地及別式所式及步

下浅沼神社

内

一三及步

境内引

一畝及步

悪水溝代引

一九畝步

農業作場道引

田本甚右門印

吉田文三郎印

寶永年間、堀兼村地圖

添付書類第四號

後世史蹟振興井ヲ傳ヘントシ神社境内ニ其ノ碑ヲ建テシ
引證

秋元但馬守喬知侯之碑銘及碑ノ概形

小松石 高廿五尺八寸 巾三尺四寸 厚一尺一寸

此凹形之地所謂振興之蹟也恐久而遂失其處

因此石欄置物中削碑而建其傍併以備後監

里詰振興而難得水故云云以蕭道難未知從從耳

寶永戊子年三月朔

諸國里人談

傍に碑あり近き頃川越邊の武士のこれと建しや

武藏演説

傍に碑あり高廿五尺六寸其銘曰秋元但馬守喬知候の建碑有り

三芳名勝園繪下

井の實蹟也傍に碑有宝永五戊子年秋元候より大夫岩田氏の建つる所

武江年表三

寶永五年戊子三月秋元侯臣岩田彦助といふ人武刀を入間郡振
兼村振兼井の舊蹟久して處を失ふ事を歎き石欄を置き
傍に碑を建る

新編武藏風土記稿 入間郡

例ニ宝永五年秋元但馬守喬知が家人岩田彦助といふ人立石あり

添付書類第五號

清原三位公詩及碑概形

根夫川石 高廿五尺二寸 巾三尺一寸 厚五寸

何人嘗喚振兼名石贊

昔埋背井弘傳道

神孫傍迹跡遺思世得

濟蒼生

正三位 清原宣明 □

裏面天保十三年夏五月宮澤建之

堀兼井詩序

南部寛謹撰書

堀兼井在江戸西北九里強蓋上古 日本武尊東征為厥民而
所鑿云是以中世以降縉紳先生東行也不能無感於此井也
既有感焉故各有斯和歌矣今茲五月里人宮澤秀定馳价到
京師囑寬又乞使原三位公寄題此井焉竊惟公天武天皇
皇孫舍人親王後裔贈正一位車折公三十七世華胄夙拜明經
博士遂講聖朝位德高顯以儀範四海也如夫詞藻固非五
儻小人之得而所請也然而令聞令望未必卒絕人乃敢就侍臣
某等惓歎踵門數次遂得荷恩看拜斯瓊章矣夫里民賴之
彌榮州郡賴之彌顯古人和歌賴之彌添光輝則不啻秀定
志達抑日本武尊神靈亦其將有寵監于此

埼玉縣史蹟名勝天然記念物調査會より史蹟保存ニ認定セラレタ
ルニ依り知事齊藤守國閣下ノ榜示板ニ記セル

堀兼の井由来記

堀兼の井は埼玉縣入間郡堀兼村大字堀兼字富士見臺
にあり其の名夙に歌書舊記ニ顯はる村社堀兼神社は
木花佐久耶姫等十三柱の神を奉祀す相傳ふ景行天皇の
御世皇子日本武尊東征の歸途皇軍を此地に駐めさせら
る軍中飲料水に乏し尊遂に富士山を拜して神祐を乞ふ
井の掘鑿に従はる土地高燥にして水脈に乏し苦辛經營其
の功を跋へさせられたりと堀兼は即ち堀難にして工事の
容易ならざりしを云ふ義あり而して堀兼神社に富士
の神を祀り鎮座の地を富士見臺と云ふも亦尊に起因すと
傳へらる堀兼の井て小名が古書に載せられしは清少納言

の枕草子を始めとす續きて千載和歌集に藤原俊成の詠
あ爾来八雲御抄山家集拾玉集夫木抄義經記廻國雜
記等に見えしを主とし其の他一々枚挙するに遑あらず
かゝる名所も室町時代爭乱相踵ける世にありては全寒煙
荒草の裏に埋没せしが徳川氏霸府を江戸に開き文教蔚
然として興隆するに及ぶ漸く保存の曙光を見たり慶安の
頃松平信綱川越城主たり家臣長谷川遂能をして浅間神
社を再建せしめ武運の長久を祈りしむ越えて六十年寶
永年間川越侯松元喬知其臣岩田彦助をして井の周圍
に石圍を設け以て崩壊を防がしめ傍に一碑を建て井蹟
なることを勤し後監に備へしむ爾来里人其の名蹟なるを
惜り天保中清原三位宣明卿の詩を乞ふ之を石に銘し井
側に建立す此等の諸碑は皆傳はりて今日に存せり萬延

元年曩に秋元侯の手に成りし石圍の外側に八角形の石
垣を築き明治三十二年更に之を修理す大正十三年本縣は保
存資金として縣費若干を交付す此水本縣史蹟名勝天然
紀念物調査會が其の要を認めたるに因る同村有志之を
機として振興井保存會を組織し先づ井の来由を世に知ら
しめんとし文を余に需む余不敏と以て之を本縣に著く
村民が尚古追遠の志厚きを感じ沿革の大較を録して之に
與ふ其處所は振興村の名が井と共に天下に噴々たるんこ
とに他ならざるなり

大正十四年四月

埼玉縣知事從四位勲三等齊藤守國撰書

添付書類第六號

葵御定紋提灯の引証

文政七年申三月二日 振兼仙元由来開帳記録

一 光帳場所紋附ちやうちん二ツ、五

一 心静院門前所紋附ちやうちん五

是より古松院持ち申す申す

添付書類第七號

岩井伊豫守祭主トナリシ引證

文政七年申三月二日堀兼仙元由來國帳記録
太神、永祭主同國足立郡大宮宿一宮
水川明神神主岩井伊豫守

添付書類第八號

第三大區郷社ニ列セラレタル引証

稻生家日記

八ノ區

郷社

堀兼村

淺間神社

神主

三芳野宣明

村社

今福村

天神社

牛窪頼久

砂久保村

荷神社

武田正明

青柳村

川神社

今村人持

下赤坂村

幡神社

木村内膳

上赤坂村

神明社

今村人持

新宿村

川神社

大原定長

下松原村

荷神社

平田織衛

上松原村	稻荷神社	今人持
中福村	稻荷神社	大川井
水野村	浅間神社	今人持
中新田	愛宕神社	木村平内

別紙ノ通り縣郷村社御定々ニ相成七仰出候ニ付テハ神社所用ノ印等御定ニ相成右ニ付御面會、上御達申度儀モ有之候間来ル十日回達所へ出向可有之候也

未九月二日

神官回達所

稻生豊實

第八區郷社祠掌申付候事

辛未

十一月

縣廳

稻生豊實

追而相達候迄第三區内村社蓮馨寺門前熊野神社第六區村社藤間村諏訪神社下新川岸村日枝神社鶴岡村八幡神社兼務可致尤郷社神勤儀ハ八塩祠官受指揮可相勤候事

明細帳

埼玉縣武藏國入間郡堀兼村大字堀兼字富見臺

村社 堀兼神社

一祭神

木花佐久耶姫命 大山咋命

天照皇大神 迦遇突知命

素戔嗚男命 天神七代命

倉稻魂命

一由緒

一往古景行天皇四十年日本武尊勅ヲ奉ル東夷征伐ト
シテ東國ニ涉ラセラレ其夏上總ノ國ヨリ千々夫國當國
秩父郡ニ凱旋ノ途當郷ニ至ラレシ時大旱ニ際シ苦ム
事甚レ故尊遙ニ前路ヲ望ミ給フニ流水アルカ如シ乃テ

尊水ヲボメント至リ玉ヘハ水ニ非ズレテ渺漠タル廣原
繁草風ニ靡ケルノミ猶先キヲ望メハ水アルカ如シ征
赴キ給ヘバ亦靡草ノミ於是逃水ノ名ヲ傳フルト云ヘリ
此ニ因テ尊令シ井ヲ掘ラセ給フニ水ヲ得ルコト能ハズ
時ニ尊遂ニ駿河ナル富士嶽ヲ見玉ヘ因テ深ク該神ヲ
祈ラルニ旱天戕ニ雲ヲ起シ大雨沛然トシテ降ル爰ニ
於テ衆軍始テ渴ヲ休ムヲ得タリ然リ而シテ尊此郷
水ニ乏シク里民ノ苦シムヲ嘆カセ玉ヘ曩ニ堀難シ井ヲ
再鑿シ尚神ニ祈ラルニ沸涌ス於是民水乏ノ苦ヲ免カ
レシト云ヒ傳フ今井欄形ヲ存スル者即チ其蹟ナリ初
堀難ネシヨリ堀難ネノ名ヲ傳フト且尊富士嶽ヲ望ミ
見テ祈ラセ給ヒシヨリ天地感應アリタル故ヲ以テ富士
岳神社ヲ祭ラレシト云ヘリ則チ今ノ淺間(堀兼)神社

之ナリ然レニ其ノ現存スル所ハ慶安三年五月松平伊豆
守信綱^{川越城主}其臣長谷川源五郎尉源遂能ニ命シテ武運
長久ノ為メ當社ヲ再營セラレ及ヒ井蹟ノ事ヲ石ニ記シテ
建ラル其後秋元但弼侯其臣岩田彦助ヲシテ建テシム
所ノ碑及清原三位公ノ詩ヲ刊セル碑表等現存ス且ツ
松平伊豆守御繩入之節拾有町歩除地ヲ賜ハリ明治三年
令ニ依リ上地ス今四年六月堀兼村淺間神社稻荷社除地及別帳並
ニ今七年七月上地所下付願ノ寫書現存ス一別當ハ川越城内
三芳山高松院ノ管理ニ附セラレタルニ明治三年神佛混淆
御所分以來他ノ神官ノ管理スル所トナリ今五年社格御
制定之節書上濟村社ニ列セラル

一明治三十八年一月十一日内務省^{三七}玉甲第二一四五号ノ指令
ヲ以テ國有林參畝拾五步境内編入許可

一、今四十年五月十八日埼玉縣指令社收第一三三九号ノ二ヲ以テ
今大字字富士見里無格社稻荷社移轉許可

一、今年九月十八日埼玉縣指令地收第八六号ノ二ヲ以テ稻荷
社移轉跡地及立木共讓與許可

一、今年十二月十三日埼玉縣指令地收第三一八二号ノ四ヲ以テ
今大字字芳野無格社日枝神社合祀許可

一、今四十二年四月十日埼玉縣指令地收第一六九五号ノ四ヲ以テ
日枝神社合祀跡地及立木讓與許可

一、今年六月十六日埼玉縣指令地收第二五〇六号ノ四ヲ以テ
本殿改築及拜殿新築許可今年十月十四日竣工

一、今年十二月二十日埼玉縣指令地收第六九九七号ノ二ヲ以テ
大字中新田字芝村社愛宕神社並今境内神社淺間神社
同稻荷神社同八坂神社大字上赤坂字富貴丘村社神明

神社大字東三木字中島無格社神明社同大字字本林
無格社七柱神社同大字字山田無格社稻荷社同大字字
下ノ澤無格社愛宕神社ヲ合祀及社號改稱（淺間神社
ヲ坂兼神社ニ改稱）件許可今四十二年三月一日合祀處
分濟届出

一、今四十二年一月廿三日埼玉縣指令地收第二三二号ノ四ヲ以
テ大字加佐志字稻荷山村社倉稻神社並同境内神社
神明社合祀許可今年三月一日合祀處分濟届出

一、今年六月十五日埼玉縣指令地收第四〇五二号ノ二ヲ以テ大字
上赤坂村社神明社跡地大字東三木無格社稻荷社跡地
今大字無格社愛宕神社跡地大字今無格社神明社跡地
大字今無格社七柱神社跡地大字加佐志村社倉稻神社
跡地及立木讓與、件許可

一、全四十三三年三月九日埼玉縣指令地収第一二九三号ノセテ以テ
神饌幣帛供進神社ニ指定セラル

一、全四十四年五月十七日埼玉縣指令地發第三二七七号ヲ以テ
明治四十一年七月内務省令第十三号附則第二項ニ依リ本令第
三章會計ニ關スル規定適要ノ件指定セラル

一、大正三年六月十九日入間郡役所指令第三七九号ヲ以テ社
務所改築ノ件許可全三年九月十日竣工

一、全四年四月二十六日埼玉縣四指令地収第二四二六号ノニヲ
以テ土地(十五筆)賣却及(壹筆)買入レノ件許可

一、全五年六月二十七日埼玉縣指令第六三四一号ノ八ヲ以テ全大字
字富士見台二百二十番宅地三百六十三坪全大字字
全二千五百九十六番ノ一山林二及四畝八歩ヲ民有地第二種
神社境内ニ編入許可

一、七年六月二十五日入間郡役所指令第三七九号ヲ以テ神樂殿
修繕ノ件許可全九年九月廿日竣工届出

一、全十二年 月 日境内地内旧蹟堀兼の井ニ對シ埼玉縣
史蹟名勝天然記念物調査會ヨリ史蹟保存ニ認定セラル

一、全十三年三月三十日埼玉縣指令十三地發第二一八五号ノ九ヲ
以テ堀兼の井榜示板及碑表石柵建設實施獎勵金ト
シテ金七拾五円交付セラル全十五年六月十六日竣工

一、全十六年六月七日入間郡役所指令第四五五號ヲ以テ外玉垣
新築ノ件許可全十五年六月十六日竣工

一、全十四年四月埼玉縣知事從四位勲三等齊藤守國閣下堀
兼の井由来記ヲ榜示板ニ撰書セラル全十四年五月二十九日
地方視察ノ途参拝セラル

一、全十五年二月十三日境内立木バラモミニ對シ埼玉縣史蹟名

勝天然紀念物調査會より天然紀念物として保存價值あり
ルモノト認定セラル

一本社

間口拾五尺
奥行拾五尺

一拜殿

間口拾八尺
奥行拾五尺

一隨身門

間口貳拾貳尺
奥行拾參尺六寸

一神樂殿

間口拾八尺
奥行拾八尺

一境内坪数

貳千五百四拾參坪

官有地第一種千四百五十二坪
内民有地第二種千九拾壹坪

一氏子

四百參拾八戸

一境内神社 四社

小御嶽神社

祭神

大山祇命

岩長姫命

由緒

不詳

社殿

間口一尺一寸五分
奥行一尺一寸

下浅間神社

祭神

木花開耶姫命

由緒

不詳

社殿

間口拾五尺
奥行拾五尺

八坂神社

祭神

素盞鳴男命

由緒

不詳

社殿

間口四尺四寸
奥行三尺四寸五分

稻荷神社

祭神

倉稻魂命

由緒

明治四十年五月十八日大字今字富士見里ヨリ移轉

社殿

間口六尺
奥行七尺

社殿其他工作物ノ部

地収第六五〇六号四

入間郡堀兼村大字堀兼字富士見堂
 村社 堀兼神社
 式年式百拾七番

登録年月日	種類名稱	番附	構造	建坪又 間敷	所在地、地目 又坪数	境内 外別	備考
明治四二年青白 建第廿九号	神殿		神明造、檜材 屋根銅板葺	四坪 倉倉七、	入間郡堀兼村大字 堀兼字富士見堂 千五百九拾七番 有社第一種神社境内 地千三百四拾七坪	境内	
明治四二年青白 建第廿六号	拜殿		全上	六坪	全上	全上	
明治四二年青白 建第廿九号	值身所		入母家造、杉材 屋根草葺	八坪 倉倉七、	全上	全上	
明治四三年十月八日 建第廿九号	神樂殿		向切妻造、杉材 屋根鐵板葺	六坪	全上	全上	

明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	祭器庫	切妻造り松材 屋根瓦 葺	四坪	入間郡坂本村寺尾 字屋上免堂貳十貳番 地積一畝二反四十七坪	境内
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	手水舎	切妻造り松材屋根 瓦葺水盤小松石 高廿二尺六寸 横九尺九寸	七合 貳勺	左	上 全上
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	左 上 式	高廿二尺六寸 横九尺九寸	七合 八勺	左	上 全上
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	鳥居	神明形石材花 崗石 高廿二尺六寸 横九尺九寸	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	左 上 式	四脚造り神明形 木材檜材 高廿二尺六寸 横九尺九寸	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	玉垣	極三垣杉材屋根瓦 葺板葺	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	壹	高廿六尺七寸 延長五拾四尺	左	上 全上	

明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	左 上 式	用綱造り石筋房 高廿六尺七寸 延長百六寸	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	石階	元塋石 中二尺級敷板拾七 踏面九寸跳上五寸 延長百六寸	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	敷石	元塋石 中四尺 延長百〇四尺	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	獅子	小松石 臺共高廿四尺 壹對	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	石 燈籠	春日形石材小松石 高廿九尺貳寸 壹對	左	上 全上	
明治四十二年三月八日 建第貳七〇号	左 上 式	高廿六尺七寸 延長五拾四尺	左	上 全上	

明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号
境内社 下流神社 社殿	境内社 小御嶽神社	境内社 玉垣	境内社 石祠	境内社 高井上	境内社 高井上
入倉造り杉材 屋根瓦葺	春日形小松石 高井上	角棚造り杉材 高井上	石祠 高井上	高井上	高井上
参考 合参考					
合	合	合	合	合	合
上	上	上	上	上	上
合上	合上	合上	合上	合上	合上

明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号	明治四十二年正月八日 建第貳七卷七号
境内社 八坂神社 社殿	境内社 稻荷社 社殿	境内社 熾梓	境内社 井戸神社	境内社 石垣	境内社 手水舎
切妻造り杉材 屋根瓦葺	切妻造り杉材 屋根瓦葺	切妻造り杉材 屋根瓦葺	切妻造り杉材 屋根瓦葺	切妻造り杉材 屋根瓦葺	切妻造り杉材 屋根瓦葺
七合	七合	七合	七合	七合	七合
合	合	合	合	合	合
上	上	上	上	上	上
合上	合上	合上	合上	合上	合上

明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	井石碑	壹	根武川石 高廿五尺二寸 厚五尺五寸	左	上	全上
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	全上	貳	小松石 高廿五尺八寸 厚五尺四寸	左	上	全上
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	古歌集石碑		青石 高廿五尺 七寸五分角	左	上	全上
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	云地收第貳八〇二号、二		方形造杉材 屋根瓦葺	左	上	全上
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	社務所		参拝庵坪 五合貳勺 土才	境内		

寶物ノ部

地收第貳五〇五号四

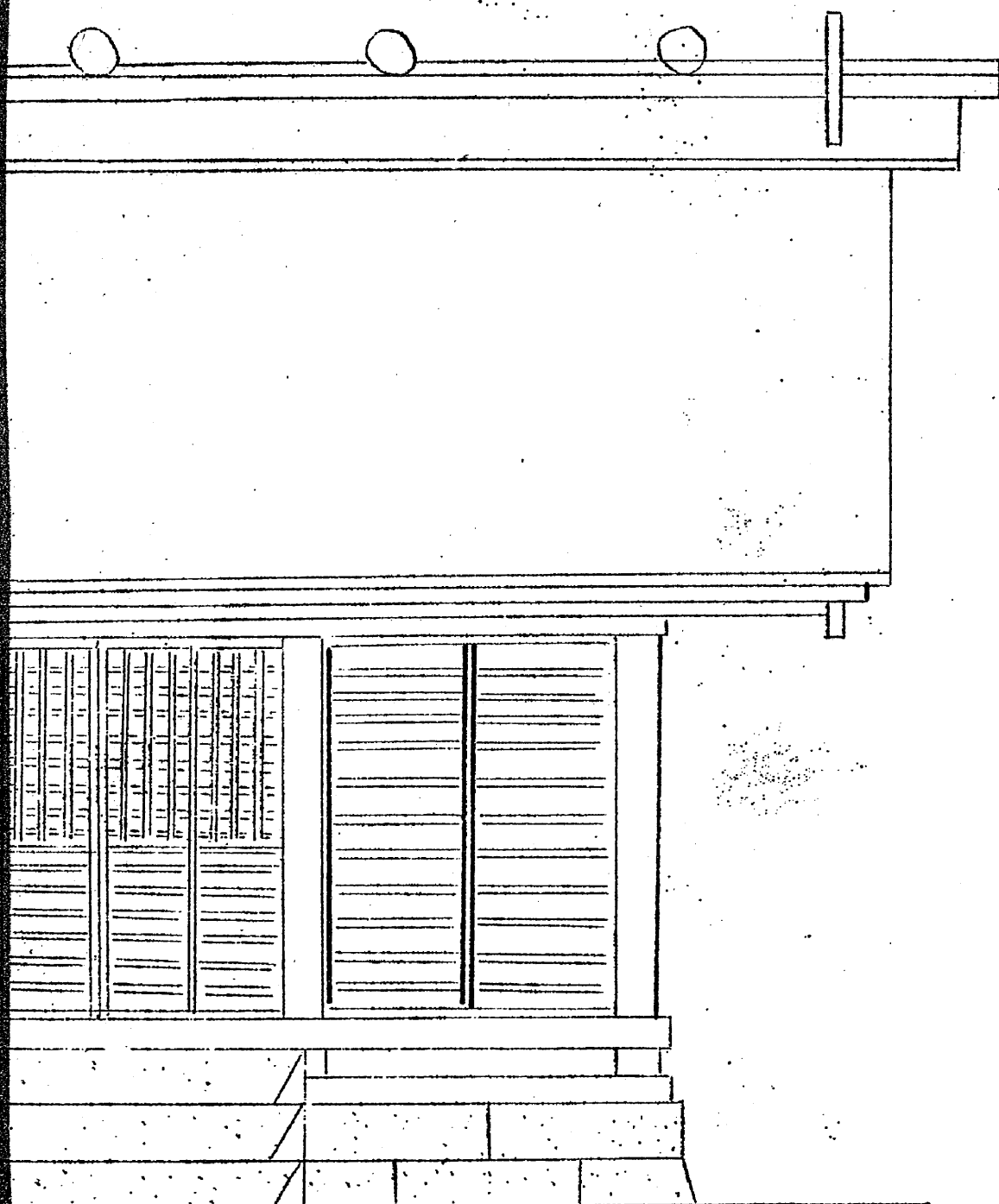
入間郡堀兼村字堀兼字富基堂
式千貳百貳拾貳番ノ貳
村社 堀兼神社

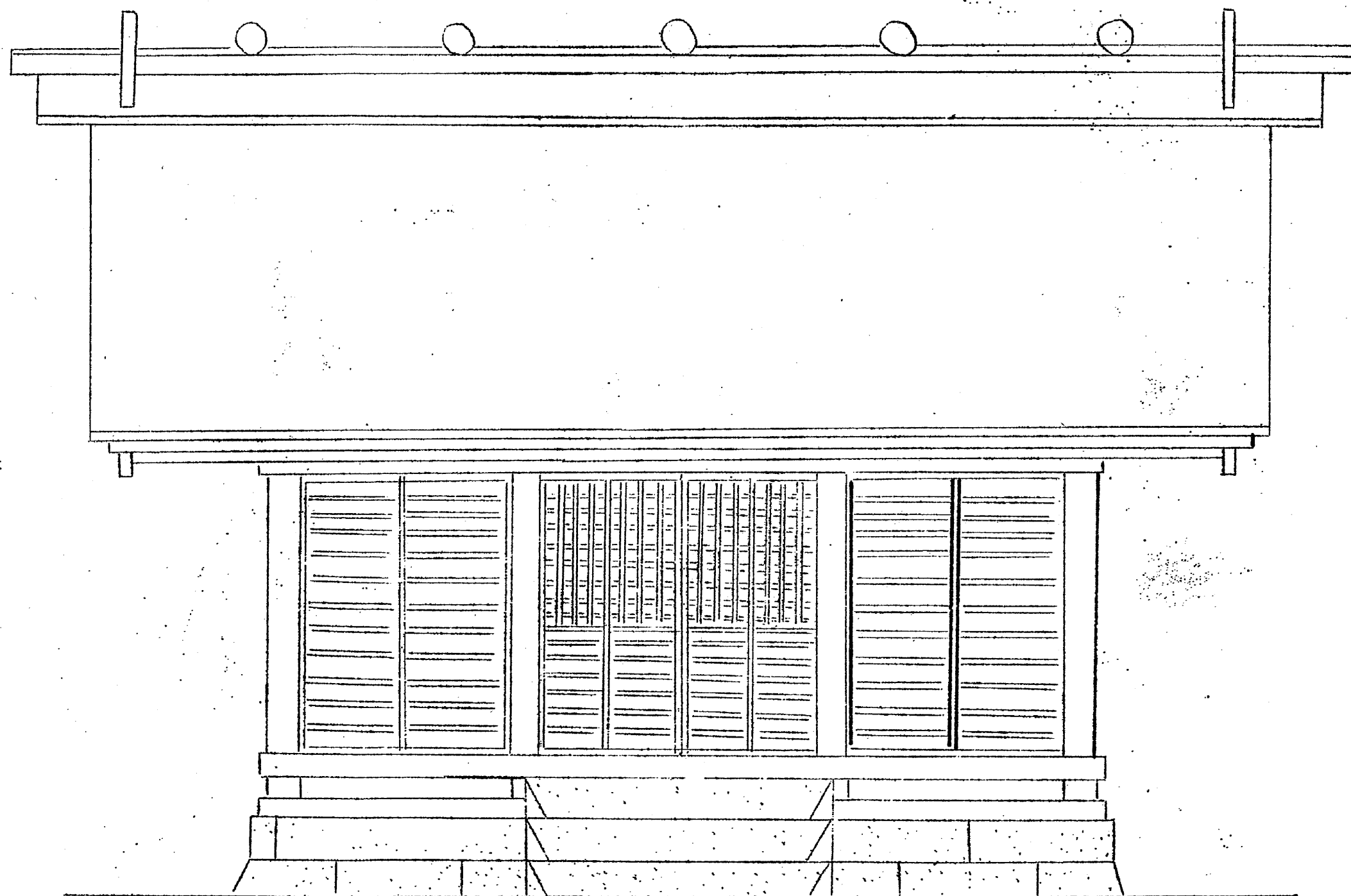
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	木像	壹	木花咲耶娘立像 彫刻彩色 基共高廿五尺	作者不明 慶安三年三月 松平伊豆守信綱 公ノ寄進	備考
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	額	壹	勅願造り楓材之ニ 浅間宮ノ篆書 浮彫ニス 縱貳尺八寸 横貳尺五寸	慶安三年参月 松平伊豆守信綱 公ノ書及寄附	
明治四十四年正月八日 建第貳貳四号	棟札石	壹	石材小松石 劍形 高参尺九寸 八寸角	棟札文ニ奉建云哉間 宮一宇息延命子孫 榮榮儀慶安参年 参月卜奉行及名主 二名人夫ノ百卜リ	

宝第四六四号	明治拾年拾月拾参日
棟	札
厚	六分
中	六寸四分
長	廿参尺参寸
延宝六年修繕ノ辞アリ別当及裏面ニ人馬ノ寄附者五名記載シアリ	檜板長方形

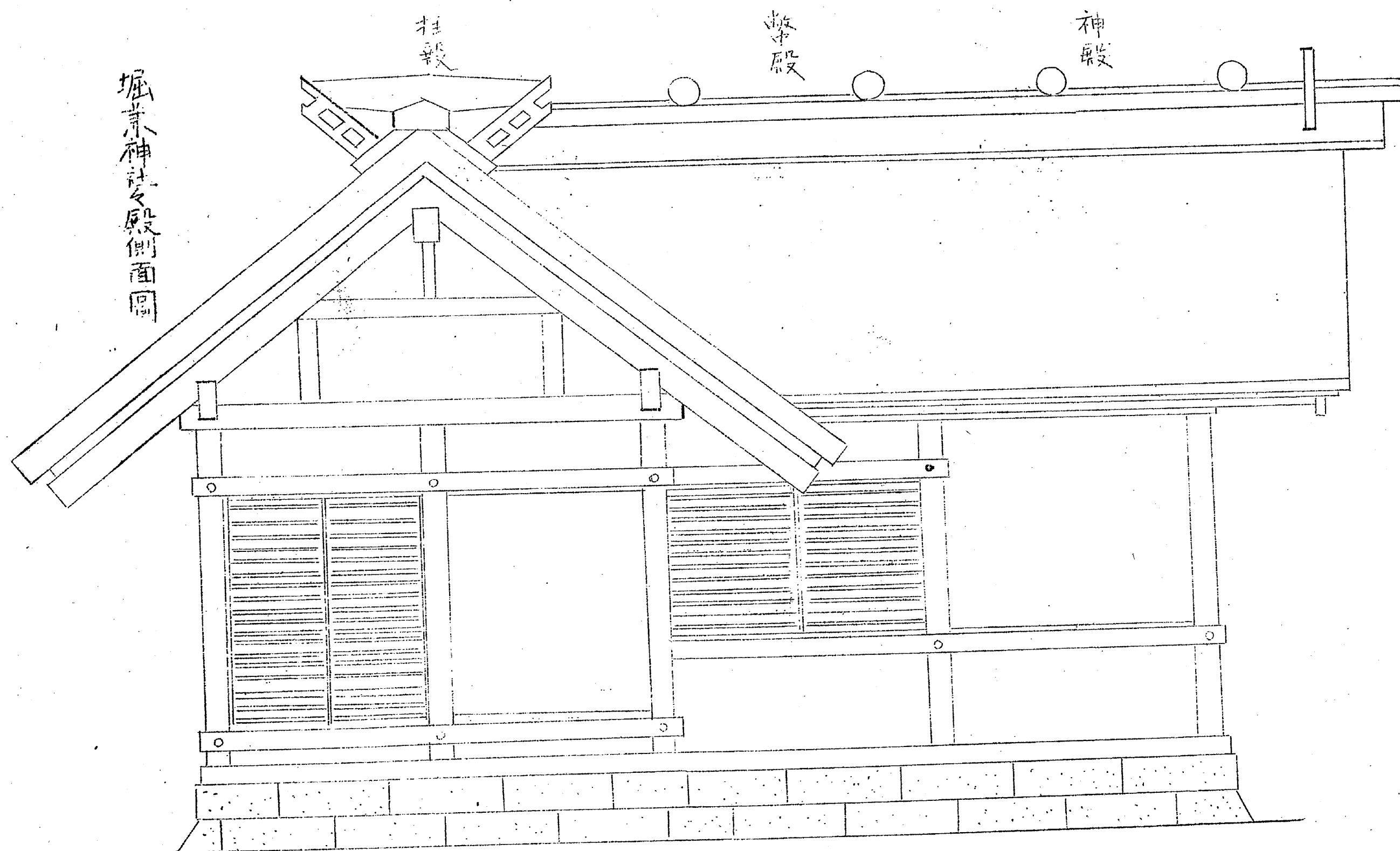
右登録ス

堀江神社々殿正面圖

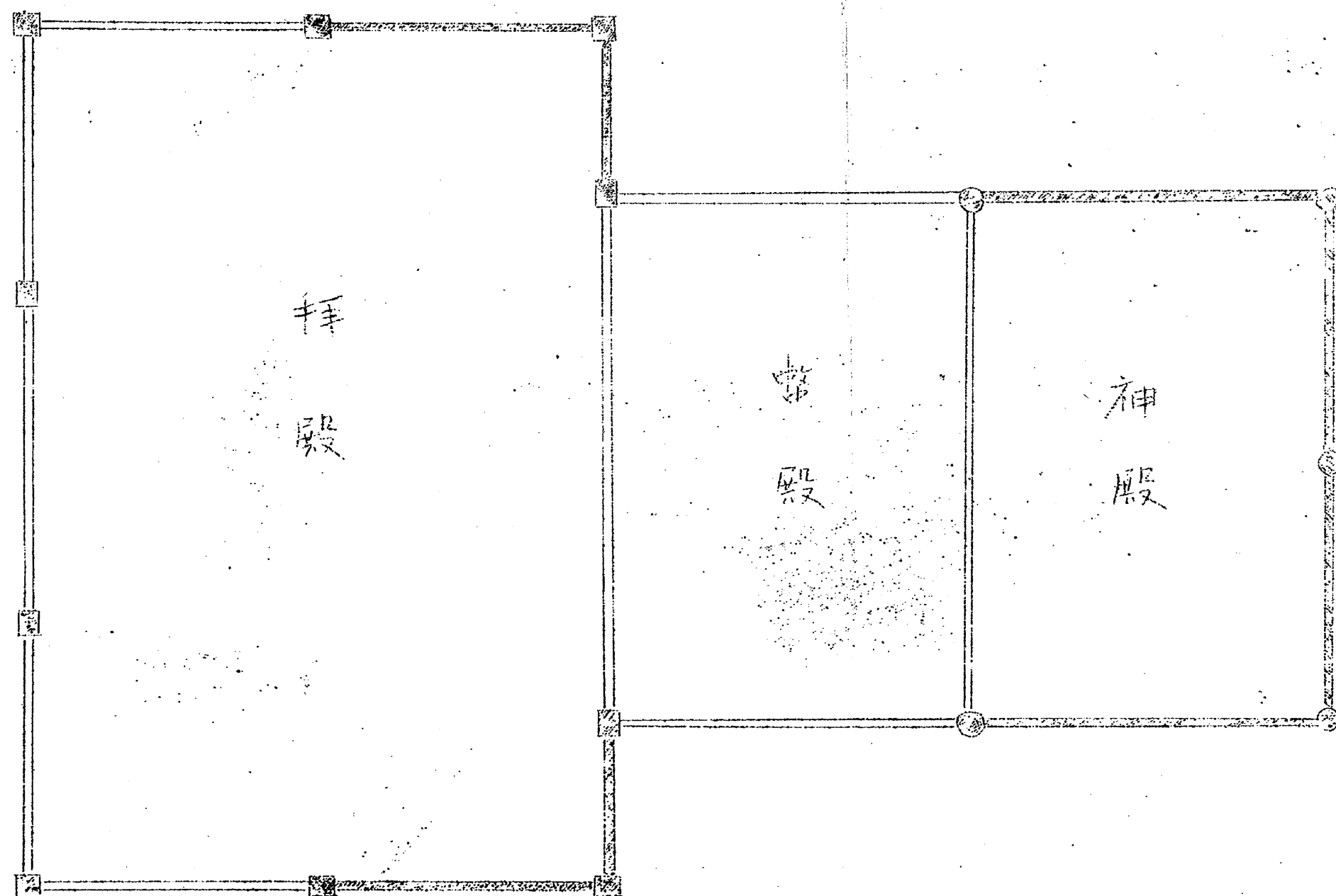




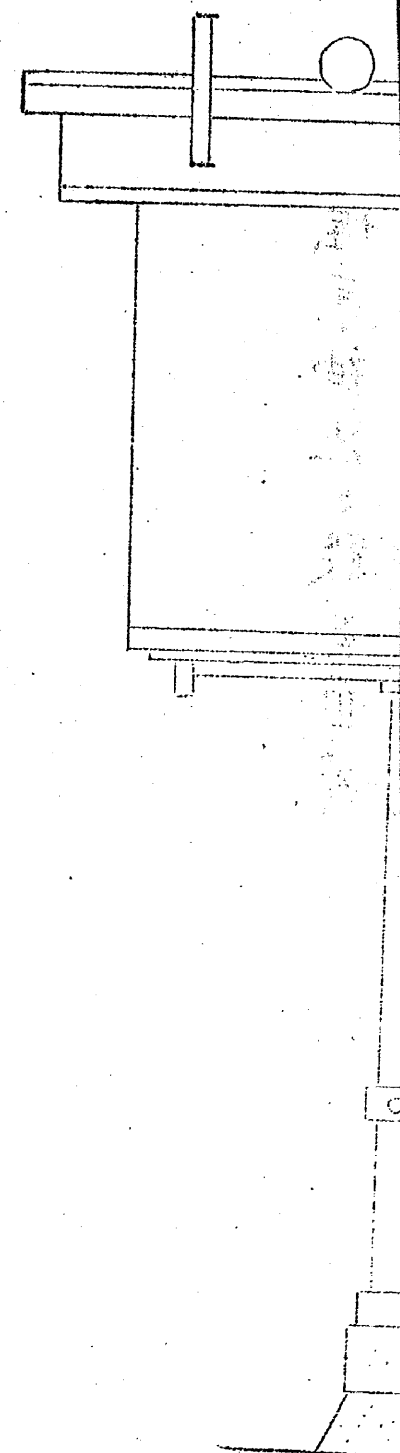
堀江神社之殿正面圖



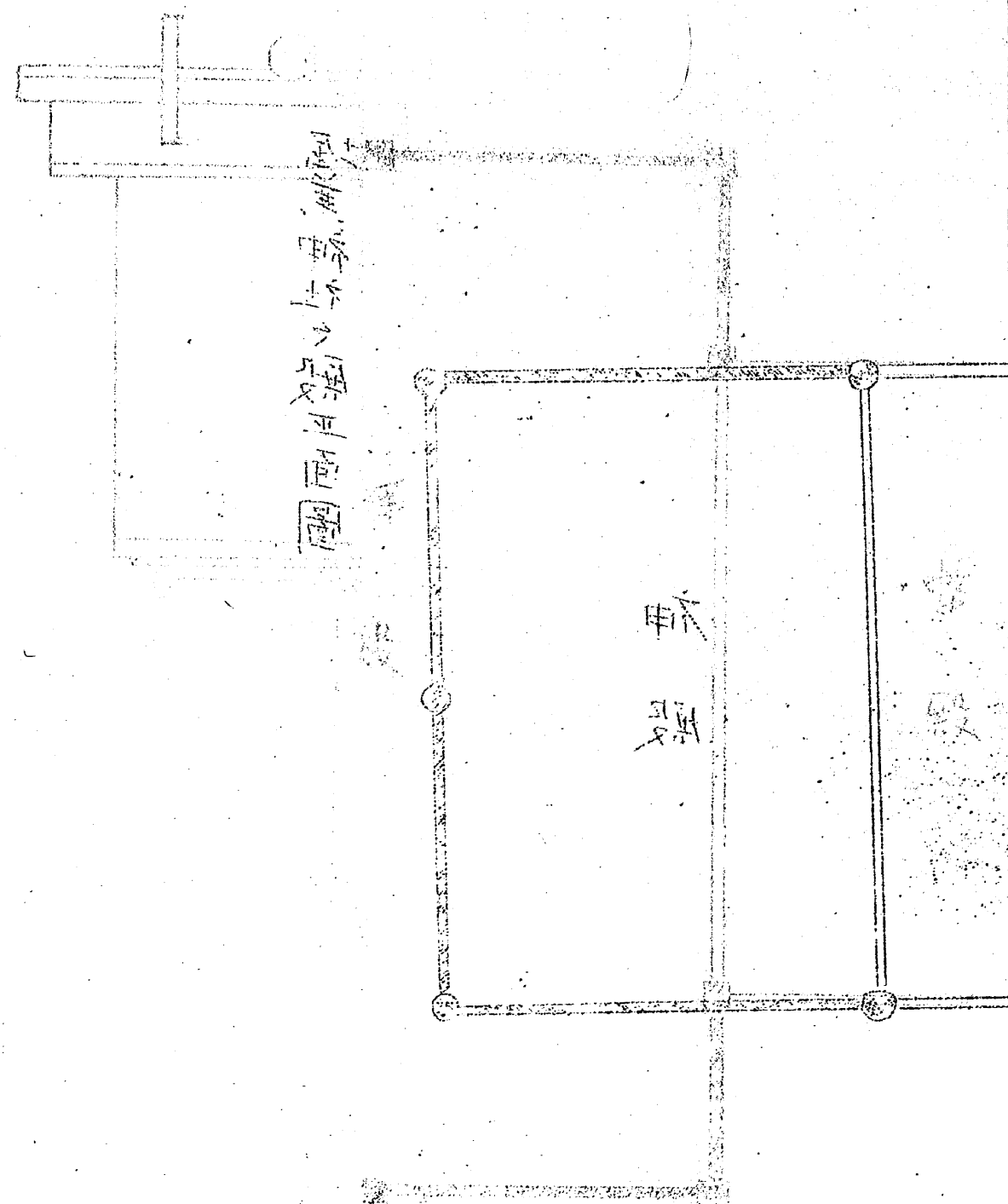
堀業神社殿側面圖



堀江神社の殿正面圖



境内見取圖



境內平面圖

氏子崇敬者戸数調書

氏子崇敬者戸数 壹千貳百貳拾四戸

内

氏子 四百参拾八戸
崇敬者 七百八拾六戸

村名	大字名	氏子戸数	村名	大字名	崇敬者戸数
堀兼村	堀兼	二百四十戸	堀兼村	青柳	百五十六戸
上赤坂		五十九戸	福原村	下赤坂	百十七戸
中新田		四十戸	今福	中福	百二十四戸
加佐志		五十一戸	今福	今福	二百四十戸
東三ツ木		四十八戸	上松原	上松原	四十戸
計		四百三十八戸	下松原	下松原	七十三戸
			砂久保	砂久保	三十六戸

計

七百八十六戸

前書ノ通り相違無之候也

昭和貳年三月廿日

埼玉縣入間郡坂兼村長尾崎忠七

印

埼玉縣入間郡福原村長小野藤平

印

坂兼村大字坂兼 貳百四拾戸

堀越半次郎	忍田福太郎	駒井恒太郎	小峰金造
武藤助次郎	大坂徳次郎	土金作次郎	小澤権四郎
小寺利男	安田子之助	佐野勘造	原島和吉
小峰久め	大谷佐吉	笠原牧太郎	吉田猶吉
小山時三郎	大谷三平	駒井民藏	吉田忠治
原嶋茂十郎	奥富萬太郎	駒井恭治	西海鯛造
西海貞治郎	三ッ木信吉	新井徳太郎	西海勇吉
吉田芳三	三ッ木勇治	岩田梅吉	西海伊三郎
吉田まき	市川三郎	桑田源吉	澤田就馬太郎
粕谷萬次郎	市川礼助	平本房吉	小林林平
市川牧太郎	市川新三郎	小澤力木	澤田作太郎
吉田興吉	駒井八郎	河野米造	奥田義一

平沼敬亮	笠原與三郎	新井喜作	小林金藏
築地新平	粕谷芳平	笠原治郎吉	新井角次郎
佐野宇太郎	笠原德一	荒幡仙藏	宮澤文平
奥富宮藏	原島熊造	根岸金平	村野信次郎
服部喜太郎	原島源造	市東省三	村野政司
服部元吉	原島友吉	富塚 胖	平沼正三
服部小太郎	原島藤吉	笠間弥太郎	宮澤夏祐
細谷弁次郎	原島榮吉	廣瀬慶道	平沼英次
服部新平	佐野辰五郎	森田代助	北田豐吉
奥富幾次郎	佐野權平	森田清吉	北田半六
関根惣平	築地梅吉	森田治助	中村松藏
服部重藏	尾形益吉	宮澤三藏	増田金三郎
奥留林平	尾形長吉	奥富久松	平沼久太郎

平沼金太郎	佐野栄治	大野勝造	吉田清九郎
奥富平藏	久保嘉一	大野留五郎	持田稻吉
中村權平	小澤國太郎	渡辺長太郎	小澤彦助
奥富陽造	市川喜一郎	増田竹之丞	小澤甚藏
諸口幸次郎	小澤惣吉	戸門徳次郎	平沼保太郎
天野安五郎	高橋新八	横山峰吉	小澤介助
天野榮次郎	高橋運八	戸門友三郎	横山辰五郎
荒畑銀藏	高橋英作	横山萬藏	滝澤龜吉
天野久五郎	北田兼吉	落合由五郎	北田貞吉
奥富安五郎	高橋 碩	落合清作	北田奥太郎
小澤幸作	高橋一平	落合多四郎	北田新太郎
宮澤佐平治	高橋角次郎	澁谷正悦	増田平五郎
天野惣吉	渡辺柳三	大野治助	横山賢次

横山與右門	小澤留吉	吉澤菊之助	荒幡寅右門
横山勝次郎	横山恭助	築地正平	中村文吉
小澤半平	小澤三平	室岡儀三郎	山下伊左門
小澤徳次郎	渡辺吉太郎	室岡忠治	田口春吉
小澤銀平	戸門忠太郎	室岡善藏	田口清治
横山忠右門	高橋直惠	室岡善七	田口福藏
横山浅次郎	水村八百造	室岡仲藏	田口キヨ
小澤政吉	小澤貞平	室岡惣平	市川專治郎
小澤吉太郎	田中甚平	室岡又五郎	市川良一
宮澤宗七	塩崎仙藏	田口喜一	荒幡藤治郎
小澤與助	塩崎清次郎	室岡彌五郎	荒幡伊八
佐野大藏	吉澤源五郎	山下和三郎	田口歌郎
小澤市造	吉澤良之助	山下新太郎	荒幡清吉

中村多吉	奥富久藏	奥富菊藏	奥富勝平
小澤長松	奥富清八	奥富丑右門	吉田守太郎
島村松之助	吉田藏之助	石田長藏	吉田吉治郎
奥富利八	吉田園次郎	市川鶴吉	荒幡安太郎
市川為次郎	荒幡豊三	荒畑長松	橋本勇治郎
室岡善九郎	室岡宗平	室岡喜一	小山兼吉
小山仙藏	塩崎惣吉	室岡久藏	室岡彦治郎
田口健次郎	田口甚之助	田口磯吉	室岡林平
室岡榮作	奥富岩次郎	平沼鷲藏	荒畑榮吉

堀兼村大字上赤坂 五拾九戸

落合福太郎	松本貞一郎	落合直吉	仲森造
落合男喜三	村野伴次郎	村田彦三郎	小川一雨鶴
村田新八	戸口豊三	石井弥助	内田仁三郎
落合喜三郎	落合政吉	三村喜惣治	中田代治郎
金井兼次郎	落合吉一郎	石井金造	落合善吉
高橋利助	松本勇吉	松本勇藏	吉野由松
村田濱次郎	村田平四郎	松本勘造	内田慶次良
村田清助	松本保一	松本保平	内田平助
松本良三	内田紋之助	松本清治郎	桑野伊三郎
松本一平	戸口惣七	戸崎治作	松本金次郎
小澤秀吉	村田確治	中田妻吉	中田玉平
小澤多吉	村田新十郎	中田民平	中田仲藏

中田巳之助	吉田仙之助	吉田磯吉	吉田伴次郎
落合治作	中田弥助	中田政平	中田子六
落合源藏	吉澤寅吉	松本金造	

振葉神社氏子名簿

振葉村四百参拾八戸

振葉村大字中新田 四拾戸

関田治平	筋野久助	深瀬丈助	高橋兼吉
石森徳治郎	齊木銀造	落合久太郎	滋谷龍造
石森延司	落合善助	落合周造	滋谷金治郎
栗原角次郎	宮澤澤造	栗原藤造	高橋勘治郎
筋野禎輔	高橋幸太郎	尾崎忠七	高橋喜一郎
石森宗治	尾崎高之助	尾崎伊八	高橋仙松
石森伸三郎	尾崎治郎八	尾崎啓祐	高橋重雄
栗原萬造	尾崎惣吉	高橋忠平	尾崎信作
筋野金三郎	高橋善吉	高橋藤吉	高橋伴次郎
岸田邦三郎	深瀬玉吉	宮澤久作	吉田七五郎

堀兼村大字加佐志

五拾

壹戸

奥富留吉	奥富榮吉	奥富元次郎	奥富伊三郎	奥富重治	奥富儀平	奥富彌助	奥富隆八	奥富福太郎	奥富鉄太郎	奥富定四郎	奥富勇吉
奥富長太郎	奥富文治郎	粕谷三吉	粕谷禎太郎	奥富志津以	奥富善吉	奥富松五郎	奥富長吉	奥富媽子	奥富兼太郎	奥富浪吉	奥富政吉
奥富密太郎	新井由藏	新井万治郎	奥富徳藏	奥富伊三郎	奥富虎吉	北田仙太郎	北田賢壽	北田良輔	新井金太郎	奥富長藏	奥富久平
粕谷榮次郎	北田奥治郎	奥富権太郎	奥富安吉	奥富福藏	粕谷勇治郎	北田春吉	奥富金平	奥富庄吉	奥富又吉	奥富萬吉	新井文平

奥富栄助

奥富三平

古川辰子

堀兼村大字東三ツ木 四拾八戸

國田直次郎	國田仙太郎	三ツ木惣治郎	國田政太郎
内海友七	三ツ木新太郎	三ツ木彌太郎	横田國之助
内海定四郎	内海常吉	三ツ木雄藏	國田久太郎
内海権太郎	三ツ木喜久治	三ツ木愛之助	横田多七
豊泉只造	三ツ木佐吉	三ツ木娘久	三ツ木直齋
内海半平	笠原英吉	田中米吉	奥富末吉
國田啓助	三ツ木半五郎	三ツ木トリ	奥富辰五郎
若井貞作	三ツ木三吉	今井清治	三ツ木岡太郎
國田喜助	三ツ木長之助	塩野谷とみ	三ツ木仙藏
國田徳太郎	三ツ木鍋次郎	内海常治郎	三ツ木宇太郎
國田積善	國田藤藏	國田梅五郎	奥富源次郎
三ツ木作次郎	三ツ木百太郎	國田光太郎	三ツ木寅吉

振葉神社崇敬者名簿

振葉神社
庫藏新

百五十六名

岩田重三郎	豐泉志十	飯島嘉次郎	矢島重三
岩田伍助	矢部甚平	岩田吉久	矢島文吉
堤福次郎	小峰由太郎	矢島惣吉	沼崎徳藏
渡辺久藏	岩田柳平	矢部定七	矢部藤藏
小峰堅藏	飯島市三郎	岩田直次郎	矢島徳藏
小峰興三郎	矢部藤平	岩田辰三郎	岩田新吉
小峰義雄	諸口忠立郎	白倉久太郎	岩田七子
岩田喜三郎	矢部作藏	岩田勝太郎	岩田政吉
岩田傳吉	飯島一郎	矢部要助	矢島子之吉
飯島米吉	矢部佐太郎	小峰岩藏	岩田忠平
小峰儀右門	飯島定藏	岩田新次郎	諸口治郎作
小峰山吉	岩田林之助	岩田藤助	諸口福太郎

諸口高次郎	岩田縫吉	二宮嘉平次	諸口章次
諸口久八	岩田澤吉	二宮留吉	高橋長太郎
諸口吉五郎	三木金藏	諸口弁次郎	豐泉常平
諸口實次郎	岩田嘉六	下村榮吉	三木子之吉
二宮長吉	島田覽太郎	下村辰五郎	新井留吉
下村又五郎	三木權次郎	粕谷庄太郎	豐泉尚司
鈴木浦吉	三木慶次郎	岩田喜之助	豐泉仙松
岡野いぢ	小峰正松	岸田惣五郎	石井福藏
岡野金太郎	二宮利八	矢島秀太郎	豐泉熊次郎
吉田幸造	吉田石松	奧富閑太郎	船津万吉
渡辺政吉	二宮仙次郎	諸口豐作	山崎龜吉
三木喜八	二宮金次郎	諸口慶次郎	吉田石藏
三木呼八	二宮榮次郎	諸口嘉吉	布施政吉

豐泉義三	豐泉正作	豐泉恭三郎	奧富其吉
小峰寅吉	小峰助太郎	高橋藤次郎	奧富惣重
豐泉藤造	布施常五郎	豐泉豐七	小谷長次郎
豐泉新太郎	鈴秋菊次郎	高橋市五郎	奧富金太郎
高橋丑松	高橋清治郎	豐泉勝太郎	奧富辰五郎
三木芳太郎	高橋重治郎	粕谷勝次郎	奧富德平
高橋安五郎	高橋登四郎	奧富定平	奧富源八
高橋作藏	豐泉佐作	志村為吉	奧富政吉
石田やき	高橋仙治郎	奧富寅之助	奧富亮之助
味岡長吉	高橋治郎七衛	奧富定吉	奧富貞太郎
竹田森藏	高橋久治郎	奧富直次郎	奧富億太郎
豐泉平八	栗原逸郎	奧富清七	奧富鉄之助
小峰希以	豐泉善吉	奧富英之祐	奧富米治郎

奥富浦吉 丸山吉太郎 奥富新吉 奥富常太郎

堀兼神社崇敬者名簿

福原村六百三十名

福原村大字下赤坂百十七戸

川村益三	小野萬吉	細野彌之吉	洲名萬藏
川村要吉	田邊新	金子勘治郎	深田惣五郎
小出重藏	川村梅之丞	小野紋十郎	田邊助五郎
小野幸助	田畑國三	深田清次郎	細野辰右衛門
細野勇吉	洲名壮平	栗原米吉	藤川由太郎
吉田清右門	小野兼吉	遠藤佐右門	細野章臣
小野秀吉	篠崎源治郎	藤川勘三	星野國三郎
小野和一	田邊甚平	川村之十	松崎平十郎
細野伸造	深田運平	滝田関藏	吉田重郎
細野文平	田畑茂十郎	井上了十	吉田國五郎
細野林藏	洲名平藏	小出良輔	小野又七

藤川清左衛門	小野榮左衛門	深田虎之助	篠崎竹治郎
小野清次郎	小野藤平	戸口勇八	藤川伊十郎
小野藤十郎	田邊政吉	小野仙藏	石川直吉
藤川幸次	細野徳治郎	小野角藏	石川三平
関口榮次郎	藤川友吉	小野多助	石川喜太郎
藤川力太郎	藤川藤藏	小野忠治郎	大曾根重五郎
藤川銀藏	深田多十郎	小野重治郎	平田直治
細野源吉	小野繁藏	小野秀吉	岡田平三郎
大橋七ノ	深田正巳	小野留五郎	室岡奥太郎
細野角藏	島村常右衛門	小野藤吉	島田榮次郎
細野勝齋	深田亀吉	石川幸一	松本吉次
細野半平	田畑虎藏	石川米吉	森田米七
尾崎岩吉	深田宇之助	石川茂一	島田喜代藏

島田善吉	篠崎傳藏	川村初治郎	田中茂十郎
森田幸之助	早川 哥	深田菊之丞	吉田彌一郎
奥富長藏	澤田徳次郎	藤川健治郎	井田茂吉
奥富筆助	高野以不	小高由太郎	野澤宇太郎
小林吉治	荒井主三	吉野和三郎	宮澤夏次郎
中田左カ			

福原村大字中福 百二十四戸

落合丑五郎	細田捨五郎	小川平五郎	岩田定吉
松崎佐七	細田亀吉	細田仲治郎	落合平十郎
落合多七	細田繁造	小野六五郎	細田徳藏
落合與三郎	細田佐吉	細田亀吉	黒田鬼市
尾崎萬平次	細田重造	細田力藏	吉澤喜平次
石川興平	細田幸太郎	細田助治郎	吉澤廣吉
石川忠右門	細田安太郎	細田八十吉	森下喜太郎
吉澤平太夫	石田豊吉	浅見鍋吉	森下友吉
吉澤林平	石田利七	細田藤七	落合幸太郎
井上長平	石田佐右門	浅見祐助	落合定右門
内田彌四郎	石田伴治郎	吉澤國藏	落合孫治
小峯源太郎	細田佐七	岩田久吉郎	浅見兼吉

落合弥五郎	細田權八	松澤シノ	松崎奥太郎
高橋奥之丞	細田孫八	井上岩松	松崎新兵衛
吉田市五郎	小峰弥次郎	吉澤仙次郎	落合清一
細田万造	谷澤豊作	尾崎春造	落合浦吉
森下栄次郎	細田仙太郎	尾崎正治	落合賢三郎
尾崎菊太郎	細田菊五郎	細田熊吉	落合久造
黒田半七	小川留吉	内田仁十郎	落合権三郎
塩川庄右門	吉澤忠次郎	内田鍋吉	森下熊藏
松崎仲治郎	浅見熊次郎	平田弥惣兵衛	落合幡平
塩川民平	塩川定吉	塩川伴七	森下彦四郎
根岸勝廣	塩川代助	塩川嘉市郎	黒田文十郎
根岸弥三郎	森下福次郎	落合恒徳	黒田三平
鳴河熊藏	松崎米造	松崎三之助	細田留吉

落合内次郎	浅見金次郎	細田五助	小峯文雄
小峯林三	吉野重助	石田啓助	細田角藏
小川廣正	石田豊造	石田熊藏	小川團五郎
吉田徳光	吉田好仁	吉田山禰	細田貞太郎
細田辰五郎	諏訪富次郎	佐藤竹松	浅見岩次郎
吉澤権次郎	金子善次郎	本橋爲吉	細田三三郎

福原村大字今福 二百四十戸

吉田竹藏	新井権太郎	新井榮弼	相澤長五郎
土金徳太郎	矢部百藏	新井徳信	飯野長太郎
土金岩吉	矢部弥助	山口清一郎	飯野嘉吉
清水平五郎	比留間留吉	牛窪頼久	奥富虎藏
石井弥五郎	宇津木茂八	山口孝太郎	奥富妻吉
落合豊吉	吉野榮吉	坂本鍋吉	飯野林七
吉田かつ	山口清吉	小谷野丑松	新井光三
吉田熊藏	栗原要藏	原田定五郎	飯野茂七
吉田常吉	小谷野多作	奥富宇平	山下又五郎
長谷川助藏	山口武雄	相澤吉五郎	小谷野利吉
金子重太郎	山口定吉	田中兵三郎	森田仁助
金子亥三	相澤辰五郎	原田多吉	奥富六次郎

横溝常吉	石井萬藏	影森松五郎	山崎高吉
志村宜益	佐野鉄次郎	矢部仙藏	森井長之助
市川市五郎	佐野虎吉	矢部政夫	森井久藏
矢部留藏	土金茂吉	新井孫七	矢部保太郎
岩澤平次郎	石井卯之助	金子寅平	矢部三藏
戸守竜二郎	落合福平	石井鍋吉	石井宗次郎
戸守和助	吉田藤吉	長谷川友次郎	矢部敬助
皆川定吉	吉田岩太郎	宇津木宇吉	矢部喜三郎
皆川興七	金子九十郎	宇津木三平	山田勘次郎
村田島吉	土金徳藏	平山瀧藏	山田彦左門
石田長藏	石井慶作	石井貞次	山田平五門
原田力称	山田岩治	山口新吉	田中藤松
奥富高造	矢部次平	吉野仁三郎	奥山五助

大野源助	宮澤吉か	森田慶松	宮澤國五郎
串田龍平	新井布美	奥富長松	市川八十吉
固山亮諦	新井茂十	山下富八	奥富雪松
鈴木亮允	行平良太郎	奥富久二郎	志村萬藏
坂本徳治	原田安太郎	原田三平	宮原鶴吉
長谷部力藏	原田萬平	相澤理三郎	齊田伊豆門
新井嘉彌吉	赤澤助太郎	西野仲藏	市川喜之助
矢部鍋太郎	原田良助	西野元三郎	志村長藏
坂本鍋藏	赤澤久松	相澤武平	市川三四郎
吉野和吉	市川鍋吉	奥富千代松	宇津木惣四郎
坂本敬之助	市川仙太郎	吉田嘉吉	吉田藤太郎
吉野俊次郎	市川長太郎	村田兼吉	吉田米吉
牛窪照太郎	宇津木貞治郎	武藤三平	平田芳太郎

串田中藏	金子菊市	皆川金藏	金子博二	武藤吉次郎	串田忠兵衛	金子百助	市川彌四郎	宇津木繁次郎	奥山金兵衛	原田勝藏	新井兼吉	平田竹次郎
小山庄七	坂本巳之助	坂本憲三	坂本喜三郎	坂本福松	小島藤作	小谷野常吉	水村五十郎	畑中政吉	吉村久太郎	金子金藏	小島留藏	細田鍋藏
関口糸吉	利根川市之助	石井惣助	関口勇吉	田代権太郎	横山角造	小谷野定太郎	高野音吉	小島文二郎	小島虎吉	森田有次郎	矢口喜宗太	小山五兄
金子安太郎	小谷野政吉	小谷野金太郎	畑中恭吉	桑田鉄之助	小川新太郎	金子彌平治	関口歡三郎	高橋友吉	関口久兵衛	堤勘次郎	瀧澤徳次郎	田代磯五郎

福田辰五郎	長谷部卯八	新井金之助	大室志方	風祭喜之助	三木和三郎	関口勘左門	安藤三平	中川重治郎
新井多輔	関根作左衛門	大岩新八	熊澤熊治郎	横内く小	山下鍋藏	坂本鶴吉	田代藤四郎	坂本三代松
奥富上志	土屋勝太郎	水橋幸七	田島太十郎	山崎卜久	松崎以良	近藤安五郎	田代浅五郎	小島久松
新井兼吉	木村金藏	小峯善直	佐藤王人	岩田佐平	岡田榮香	高橋長一郎	吉田たき	小島萬藏

福原村大字上松原 四十戸

黒田熊藏	山下弥吉	浅見半平	山下鍋吉
宮岡榮十郎	桑田貞太郎	平田善六	筋野茂十郎
岡田喜三郎	黒田興四郎	平田常吉	神田喜三郎
室岡八儿	黒田房五郎	黒田彌三郎	落合関松
黒田庄太郎	桑田正	桑田孝三郎	落合市五郎
岡田重助	岡田文吉	桑田司	大坂夕ノ
岡田梅五郎	高橋道助	黒田重藏	山下馬五郎
相田初五郎	岡田保壽	山下源助	岡田誠司
落合萬吉	根岸七五郎		
山下定吉	宮岡佐吉		
森下巳之助	忍田喜十郎		
山下松五郎	忍田佐次郎		

福原村大字下松原 七十三戸

柿沼友吉	落合榮藏	根岸萬次郎	大木菊治郎
柿沼辰五郎	大木市五郎	柿沼仙松	村田房五郎
柿沼長造	戸田兼五郎	落合福太郎	新井権介
新井勇次郎	安田藤藏	柿沼寅吉	柿沼清治郎
柿沼濱五郎	大木興三郎	石川磯土郎	戸口半平
根岸喜太郎	戸田龍治郎	村田栄十郎	柿沼甚平
根岸稻重	鳴河安土郎	新井重太郎	新井定七
戸口捨土郎	村田久四郎	大木勘藏	柿沼伊之吉
戸口弥介	赤木庄三郎	村田徳次郎	柿沼玄吉
村田庄次郎	鳴河廣吉	村田善太郎	柿沼駒五郎
鳴河角治郎	柿沼兼五郎	村田長松	鳴河市五郎
石原仙松	戸口萬次郎	村田三治郎	大木藤五郎

大木市五郎	安田常次郎	安田敏美	大木三十郎
岡部強平	新井定吉	大木豊吉	大木興七
石原文平	村田惣次郎	村田久造	赤木常吉
赤木康吉	赤木安藏	大木梅五郎	大木清吉
大木彌三郎	齊藤鍋吉	大木重介	大木正平
師岡稻重門	戸田宗太郎	柿沼才次郎	大木末三郎
大木熊太郎			

福原村大字砂久保 三十六戸

利根川清之助	酒井林藏	加藤花	石川松五郎
利根川峯吉	河合斧吉	関本惣吉	鈴木鶴次郎
石川須磨吉	鈴木露吉	加藤重藏	大河内喜多郎
加藤新次郎	鈴木岩造	室賀三藏	大室綱吉
室賀熊藏	河合兼吉	石守房次郎	石川徳太郎
室賀勝五郎	鈴木辰五郎	関本源次郎	石川新太郎
室賀榮吉	忍田和嘉	室賀武七	鈴木喜平治
室賀文造	鈴木升吉	鈴木良太	室賀丑藏
吉村喜太郎	横田佐太郎	鈴木清吉	鈴木祿市

證明願

入間郡堀兼村大字青柳

諸口慶次郎外百五十五名

右八村社堀兼神社崇敬者有之元記ノ通り(前三十年分ヲ掲ク)毎年社費ヲ負担シ且將來永久ニ氏子同様義務ヲ盡スモノ相違無之候ニ付御證明相成度候

記

大正十二年度崇敬者負担金

一金參拾四円四拾錢

堀兼村大字青柳崇敬者戸平均
金三十三兩割 百五十六戸分

大正十三年度崇敬者負担金

一金參拾參円八拾五錢

堀兼村大字青柳崇敬者戸平均
金三十三兩割 百五十六戸分

大正十四年度崇敬者負担金

一金貳拾六円五拾五銭

堀兼村大字青柳崇敬者戸平均
金十七匁強、割百五十六戸分

昭和二年三月廿九日

村社堀兼神社掌

稻生三郎

全氏子總代

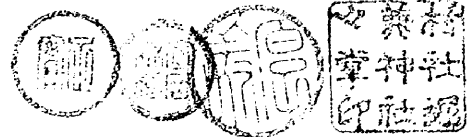
宮澤文平

全

室岡林平

全

平沼久太郎



堀兼村長尾崎忠七殿

右證明候也

昭和貳年三月廿九日

埼玉縣入間郡堀兼村長尾崎忠七



堀兼村大字青柳

崇敬者總代

諸口慶次郎

全

奥富英之助

全

岩田辰五郎

大正十二年度崇敬者負担金調書

一金參拾四円四拾銭

堀兼村大字青柳崇敬者百五十六人負担金

大正十三年度崇敬者負担金調書

一金參拾參円八拾五銭

堀兼村大字青柳崇敬者百五十六人負担金

大正十四年度崇敬者負担金調書

一金貳拾六円五拾五銭

堀兼村大字青柳崇敬者百五十六人負担金

右、毎年振葉神社社員トシテ崇敬者ヨリ負担シ居ルモノ、中
前三年度分ヲ掲載セリ

證明願

入間郡福原村

川村益三外六百二十九名

右、村社振葉神社崇敬者ニ有之九記ノ通り前三年度分ヲ掲載
毎年社費ヲ負担シ且將來永久ニ氏子同様ノ義務ヲ盡ス者
ニ相違無之候ニ付御證明相成度候

記

大正十二年度崇敬者負担金

一金百參拾九圓九錢也

福原村崇敬者負担金

内 譯

一金貳拾五圓八拾貳錢

福原村大字下赤坂崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十二兩豫割百十七戸分

一金貳拾七圓參拾七錢

福原村大字中 福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割百三十四分

一金五拾貳圓八拾八錢

福原村大字今 福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割百三十四分

一金八圓八拾八錢

福原村大字上 松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割四十八分

一金拾六圓拾四錢

福原村大字下 松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割七十三分

一金八圓也

福原村大字砂久保 崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割三十六分

大正十三年度分崇敬者負担金

一金百參拾六圓九拾五錢也

福原村崇敬者負担金

内 譯

一金貳拾四圓參拾九錢

福原村大字下 赤坂崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割百十七分

一金貳拾六圓九拾壹錢

福原村大字中 福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割百三十四分

一金五拾貳圓八錢

福原村大字今 福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割百三十四分

一金八圓七拾錢

福原村大字上 松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均三十三兩強、割四十八分

一金拾五円九拾七銭

福原村大字下松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割七十三戸分

一金七円九拾銭

福原村大字砂久保崇敬者負担金
崇敬者一戸平均二十一才強割三十六戸分

大正十四年度分崇敬者負担金

一金百七圓貳拾五銭也

福原村崇敬者負担金

内 譯

一金拾九圓九拾貳銭

福原村大字下赤坂崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割百十七戸分

一金貳拾壹円拾貳銭

福原村大字中福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割百二十四戸分

一金四拾圓八拾五銭

福原村大字今福崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割三百四十戸分

一金六円八拾貳銭

福原村大字上松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割四十戸分

一金拾貳圓四拾銭

福原村大字下松原崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割七十三戸分

一金六圓拾四銭

福原村大字砂久保崇敬者負担金
崇敬者一戸平均十七才強割三十六戸分

昭和二年 月 日

村社振業神社掌 稻生三郎



全氏子總代

宮澤文平



全

室岡林平



全

平沼久太郎



福原村長小野藤平殿

右相違無之ニ付証明候也

昭和貳年 月 日

埼玉縣八潮郡福原村長小野藤平

印

大正十三年度崇敬者員担金

一金百參拾九圓九錢也

福原村崇敬者員担金

内 譯

一金貳拾五圓八拾貳錢

福原村大字下赤坂崇敬者員担金

一金貳拾七圓參拾七錢

福原村大字中福崇敬者員担金

一金五拾貳圓八拾八錢

福原村大字今福崇敬者員担金

一金八圓八拾八錢

福原村大字上松原崇敬者員担金

一金拾六圓拾四錢

福原村大字下松原崇敬者員担金

一金八圓

福原村大字砂久保崇敬者員担金

大正十三年度崇敬者員担金

一金百參拾六圓九拾五錢也

福原村崇敬者員担金

内 譯

一金貳拾五円參拾九錢	福原村大字下赤坂崇敬者負担金
一金貳拾六円九拾壹錢	福原村大字中 福崇敬者負担金
一金五拾貳円八錢	福原村大字今 福崇敬者負担金
一金八円七拾錢	福原村大字上松原崇敬者負担金
一金拾五円九拾七錢	福原村大字下松原崇敬者負担金
一金七円九拾錢	福原村大字砂久保崇敬者負担金

大正十四年度崇敬者負担金

一金百七圓貳拾五錢也 福原村崇敬者負担金

内 譯

一金拾九圓九拾貳錢	福原村大字下赤坂崇敬者負担金
一金貳拾壹円拾貳錢	福原村大字中 福崇敬者負担金
一金四拾円八拾五錢	福原村大字今 福崇敬者負担金

一金六円八拾貳錢	福原村大字上松原崇敬者負担金
一金拾貳円四拾錢	福原村大字下松原崇敬者負担金
一金六円拾四錢	福原村大字砂久保崇敬者負担金

以上

右ハ毎年振興神社費トシテ崇敬者ヨリ負担シ居ルモノ内
前三ヶ年度分ヲ掲載セリ

基本財産調書

(大正十四年度末)

村社堀兼神社公掌

稻生三郎



今氏子總代

宮澤文平



左

室岡林平



左

平沼久太郎



一金六百七拾圓也

有價證券(勸業銀行債券)拾八枚

一金壹千七百四拾壹圓九拾九錢參厘

現金(川越郵便局貯金)

合計金貳千四百拾壹圓九拾九錢參厘

證明願

記名

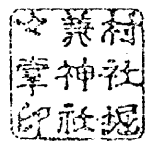
一 勸業銀行債券

五百圓券壹枚

右入間郡堀蒹村社堀蒹神社基本財産トシテ保護預有之
候事御證明相成度候也

昭和三年三月廿三日

堀蒹神社々掌 稻生三郎



株式會社 第十五銀行頭取綾部利右門殿

右證明又

昭和貳年參月廿參日

埼玉縣川越市
株式會社 第五銀行

印

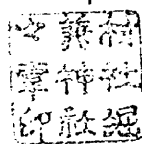
證明願

一勸業銀行債券 拾円券拾七枚 此額面金高百七拾圓
一郵便貯金 壹千七百四拾壹圓九拾九錢參厘

右入間郡振葉村社振葉神社基本財産トシテ保管有之
候事御證明相成度候也

昭和三年三月二十三日

振葉神社掌 稻生三郎



川越郵便局長殿

右ノ通り證明候也

昭和二年三月廿三日

川越郵便局長

永谷外八郎

印

神社基本財産造成方法決議書

村社堀兼神社ニ基本財産トシテ別紙証明書ノ通り勸業債券額
面高六百七拾圓、郵便局貯金壹千七百四拾壹圓九拾九錢參厘
有之候モ猶神社昇格ノ御詮議ニ就キ上局ニ於カレ更ニ増額ノ
必要ヲ認メテ何分ノ御沙汰ニ接シタルトキハ氏子負担金並ニ氏子
崇敬者有志ノ寄附金ヲ以テ直ニ所要金額ヲ調達シ成規ノ預入
箇所へ預入保管スルコト

右決議候也

昭和二年三月廿九日

堀兼神社々掌

稻生三郎

今氏子總代

宮澤文平

全

室岡林平



全 左 左 左 左 左 左 左 左 左 左 左 全

平沼久太郎
尾崎忠七
筋野禎輔
市川治三郎
平沼敬亮
高橋英作
北田奥太郎
室岡彦治郎
松本貞一郎
松本保平
奥富伊三郎
粕谷榮次郎
國田直次郎

三木百太郎



大正十三年度収支豫算書

入間郡堀兼村大字堀兼

村社 堀兼神社

一金貳千八百七十四

歳入總計

一金貳千八百五十七圓

歳出總計

歳入歳出差引残十一

収
入

科 目		本年度 予算高	前年度 予算高	比 較	附 記
第一欸 諸收入				増 減	
第一項 幣帛料 神饌料	第一目 幣帛料 神饌料	三〇〇〇	三〇〇〇		規定額
第二項 崇敬者 氏子 負此金	第一目 崇敬者 氏子 負此金	六五〇〇	六五〇〇		氏子四百三十八戸平均九十八 此金三百九十四圓二千九 崇敬者七百六十六名此金三百 余此金百七十四圓十銭 計金七百六十五圓
第三項 社金		四三〇〇	一五〇〇〇	七〇〇	守札二十枚一併金賣 計金七圓
第四項 祈禱料	第一目 祈禱料	一六〇〇	一六〇〇		祈禱三百六十四圓四銭五銭 此金百三十一圓
第五項 賽才 初穂料	第一目 賽才 初穂料	一六〇〇	一六〇〇		
第六項 神符字 札調製費	第一目 神符字 札調製費	一〇〇〇	一〇〇〇		
第七項 祈禱料	第一目 祈禱料	一三三〇	一三三〇		

第五項旅費	第七目雜費	第六目贈費	第五目通信費	第四目消耗費	第三目神符等札 調製費	第二目印刷費	第一目備品費	第貳項社務 所費	第貳項神職 俸給	第一項神職 俸給	第一項雜給	第一目小使費	第一目神職 俸給	第一項神職 俸給	第一項神職 俸給
五〇〇	一五〇〇	一八〇〇	二〇〇	六〇〇	三三〇	五〇〇	三〇〇	二四三〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇
五〇〇	五〇〇	一九〇〇	二〇〇	六〇〇	三二〇	五〇〇	三〇〇	二四三〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇	一五〇〇
	一〇〇〇														
		一〇〇													
	諸雜費金十五円	夜警夜勤宿直贈費 此金百八十円	見込額	薪炭油茶筆墨等 此金六十円	糊入半紙、校札、相札等 此金三十二円	套封紙、手決、算用紙其他 印刷費此金五円	見込額					見込額			社掌月俸七円 （年分八十四円）

第六項 境內外諸費		第一目 旅費	五	〇	〇	五	〇	〇	日當土日向此金五兩
		第一目 齊田費	一	〇	〇	一	〇	〇	見 上 額
		第二目 備人料	三六	〇	〇	三六	〇	〇	境內掃除料 五年金三十兩
		第三目 苗木	一	〇	〇	一	〇	〇	
		第四目 外至垣 建築費	一〇	〇	〇	一〇	〇	〇	
		第五目 雜費	三五	〇	〇	三五	〇	〇	諸雜費金參拾五兩
第七項 寄贈金		第一目 神職會 寄贈金	六	〇	〇	六	〇	〇	埼玉縣神職會 寄贈金
第二欸 營繕費		第一目 營繕費	二九	〇	〇	二五	〇	〇	
第一項 建築費		第一目 塙市板 建築費	四七	〇	〇	四七	〇	〇	材料 土賃 人夫賃 共 此金三百五拾兩
		第二目 石柵 建築費	三〇	〇	〇	三〇	〇	〇	材料 土賃 人夫賃 共 此金百二十兩

第二項修繕費		第一目 隨身門修繕費	第二目 塙垣修繕費	第三目 馬居修繕費	第四目 小破修繕費	第三款 豫備費	第四款 豫備費	第一目 豫備費	第二項 豫備費	第四款 積立金	第一項 積立金	第二項 積立金	合計
七二〇	〇〇	五五〇	一五〇	一三〇	五〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇二〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	三六〇〇
一三九	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	八四〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
五五〇	〇〇	五五〇	一五〇	〇〇	〇〇	五二〇	五二〇	五二〇	五二〇	〇〇	〇〇	〇〇	三〇二〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	一三〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	一〇〇〇
材料工賃人夫賃等 此金五百七十九圓		材料工賃人夫賃等 此金五百七十九圓		小破修繕費金五圓		予算超過又予算外ノ費金三九〇							

大正十四年度收支豫算書

入間郡堀兼村大字堀兼村社 堀兼神社

一金七百參拾五圓 歲入總計
 一金七百參拾五圓 歲出總計

歲入歲出差引殘ナシ

收入

科		目		本年		前年		比		附記	
第一欸 諸收入		算高		算高		算高		增減			
第一項 幣帛料	第一項 幣帛料	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	規定額
第二項 崇教者	第二項 崇教者	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	氏子四百三十八戶一戶平均九兩 此金三百九十四兩二錢六分 崇教者七百八十六名一名金十 七兩強此金百三十三兩八錢十 計金五百二十八兩
第三項 社入金	第三項 社入金	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	神符三十條一條五兩 此金五百兩
第四項 祈禱料	第四項 祈禱料	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	實部金十六兩 祈禱三百十回一四金五兩 此金百五兩

第貳項 積立金支出	第一目 縣費補助金		第一目 繰越前年度繰越金	第七項 前年度繰越金	第六項 雜收入	第二目 用途指定寄附金	第五項 寄附金	第三目 枯樹木賣却代	第一目 使用料	第一項 境內地收入
			一〇〇	五〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇
四六五	七五	七五	一五〇	一五〇	一〇〇	一〇〇	二四五	一〇〇	一〇〇	二〇〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
四五	七五	七五	一〇〇	一〇〇		一五〇	一五〇			
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇		〇〇	〇〇			
			前年度繰越金五十円		見込額	見込額	見込額	見込額	需座使用料金店內	

[illegible]

合 計	第三項 各種積立金		第四項 基本財産積立金		第四款 積立金		第五項 豫備費		第三款 豫備費		第二項 各種修繕費		第一項 修繕費	
	第一目 修繕費	第二目 修繕費	第一目 基本財産積立金	第二目 基本財産積立金	第一目 積立金	第二目 積立金	第一目 豫備費	第二目 豫備費	第一目 積立金	第二目 積立金	第一目 修繕費	第二目 修繕費	第一目 修繕費	第二目 修繕費
七五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	三〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	二五〇〇	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
三三〇〇			二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
三三〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇			一〇〇〇	一〇〇〇					二〇〇〇	二〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
三三〇〇							五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇			五〇〇〇	五〇〇〇
	隨身門改修積立金百円		社入金、用途指定金、寄附金、境内地収入等百五十法郎額		予算超過又ハ予算外ノ費途ニ充テ						金三十九円見積額			

大正十五年度収支豫算書

入間郡振葉村大字振葉

村社 振葉神社

一金參千七百四拾七圓 歳入總計

一金參千七百四拾七圓 歳出總計

歳入歳出差引残ナシ

收入

科 目		本年度 予算高	前年度 予算高	増	比	減
第一欸	諸收入	三〇七〇	七三五〇	三三三〇	増	減
第二項	幣帛料 神饌料	三〇〇〇	三〇〇〇			
第三項	氏子 崇敬者 貞坦金	六六三〇	五三八〇	三三五〇		
第四項	神符守札 授与料	二〇〇	一〇〇	一〇〇		
第五項	實才 初穂料	一五〇〇	一六〇〇			
第六項	祈禱料	一〇五〇	一〇五〇			
規定額						

合 計		第二項 各種積立金	第一項 基本財産積立金	第四款 積立金
第一目 隨身門改修積立金		第一目 基本財産積立金		
三七五	一〇〇	二〇	二〇	二〇
〇	〇	〇	〇	〇
七三五	一〇〇	二〇	二〇	二〇
〇	〇	〇	〇	〇
三〇三				
〇				
隨身門屋根改修費 金百円		社入金、用途指定寸金、寄附金 境内地収入、百五十萬圓		

大正十二年度收支決算書

入 開 郡 堰 蒲 村 大 字 堰 蒲

村社
堀
兼
神
社

1/2

一 金九百七拾四圓貳拾七錢七厘

支
法

一 金 七 百 拾 七 圓 。 九 錢

收支差引貳百五拾七圓拾八錢七厘

大正十三年度へ
繰越

大正十二年度收支決算

收入

科目		本年度		本年度		比		附記
目	入	決算高	予算高	増	減	較		
第一項 幣帛料	九四・三三	八五・〇〇	三・三三	増	減		規定額金參拾円	
第一項 幣帛料	三・〇〇	三・〇〇	〇・〇〇					
第二項 氏子	五七・六九	五五・〇〇	二・六九				氏子四百三十八戸平均金九十兩此金當由内二十兩崇敬者七百八十八名金二千兩此金當由内四十兩計金五百六拾七兩七十九兩	
第二項 氏子	五七・六九	五五・〇〇	二・六九					
第三項 社會	二九・一〇	一五・〇〇	一四・一〇				神符六十三條一條金五兩此金當由内十兩賽會金十六兩九十五兩	
第三項 社會	二九・一〇	一五・〇〇	一四・一〇					
第四項 神符等	三一・五五	一・〇〇	三〇・五五				賽會金十六兩九十五兩	
第四項 神符等	三一・五五	一・〇〇	三〇・五五					
第五項 賽會	一六・九五	一六・〇〇	九五					

第三項雜給		第四項社務所費		第五項旅費	
第百小使費	六八〇 一五〇〇	第百備出費	一八三 四〇 二四三	第百印刷費	一七二 五〇〇
第百神符守札 調製費	三〇 四五 三二〇〇	第百消耗品費	一八九 六〇〇	第百通信運搬費	二〇〇
第百購買費	一四七 二六一九〇	第百雜費	二〇二 五〇〇	第百旅費	五〇〇
合計	八二〇	合計	九六〇	合計	五〇〇
小使四人半 分一日工金 一五元 此金七月 八十元	八二〇	會計簿 予決算用紙 其他印刷費 金一四七 十二元	三三八	奉書紙 糊入半紙 水引箱札 等此金 三十元 四十五元	一五五
薪炭油 茶蠟燭 筆墨紙 此金一 月九十五元	四〇五	夜警 購百四 分金五十 元	二〇〇	在勤 購百四 分金五十 元	四〇五
宿直 購百四 分金四十 元	二九八	計金 百四十六 元	二九八	諸雜 費金 式月式元	二九八

第六項 境內外諸費		第七項 寄贈金		第二欸 營繕費		第一項 修繕費		第三欸 豫備費	
第一目 齋費	第二目 傭人料	第三目 苗木 購入費	第四目 雜費	第一目 神職會 寄贈金	第二目 營繕費	第一目 鳥居 修繕費	第二目 小破 修繕費		
三二〇	二七〇		五一〇	六〇〇	一六四七七	一六四七七			
七三〇	三六〇	一〇〇	三五〇	六〇〇	一三五〇〇	一三〇〇〇	五〇〇		
					三五四七	三五四七			
四〇九〇	九〇〇	一〇〇	元九〇				五〇〇		
	境內掃障料一年 金二十七圓		電燈料其他諸雜費 金五圓十角	埼玉縣神職會(寄贈金 六圓			材料代金百圓、人夫十四圓七十七角 計金百四十四圓七十七角 金三十四圓七十七角、予備費九圓		

合 計	第 四 款 積 立 金		第 三 項 積 立 金		第 二 項 積 立 金		第 一 項 積 立 金	
	第 一 目 積 立 金	第 二 目 積 立 金	第 一 目 積 立 金	第 二 目 積 立 金	第 一 目 積 立 金	第 二 目 積 立 金	第 一 目 積 立 金	第 二 目 積 立 金
七	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
二	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
八	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
三								
九								
八								
	社 會 境 內 地 租 入 等 百 分 五 十 一 額		隨 身 門 修 繕 積 立 金 百 兩		第 一 項 積 立 金 一 二 〇 七 第 一 款 第 一 項 第 二 目 雜 費 一 三 四 七 第 二 款 第 一 項 第 一 目 鳥 糞 修 繕 費 九 兩 八			

大正十三年度收支決算書

入間郡堀兼村大字堀兼

村社 堀兼神社

收入

一金貳千九百五拾九圓七拾四錢

支出

一金貳千七百九拾八圓參拾錢參厘

收支差引殘金百六拾壹圓四拾參錢七厘

大正十四年度へ繰越

收
入

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

大正十四年度收支決算書

入間郡堀蒹村大字堀蒹

村社堀兼神社

収
入

一金九百參拾貳圓壹錢七厘

支出

一金六百。六圓七拾八錢

收支差引殘金參百貳拾五圓貳拾參錢七厘

大正十五年度（繰越）

收

[illegible]

支出

合 計	第七項 前年度繰越金		第六項 雜收入		第五項 附金		第四項 境内地收入		第三項 祈禱料	
	第一目 前年度繰越金	第二目 利子	第一目 寄附金	第二目 用途指定金	第一目 祈禱料	第二目 枯樹木賣却代	第一目 使用料	第二目 祈禱料	第三目 祈禱料	第四目 祈禱料
九三二〇一七	一六一四三七	一六一四三七	五八六	五八六		七〇	七〇	九九	九〇	一〇五
七三九〇〇	五〇〇	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一九七〇七	一一一四七	一一一四七	四一六	四一六		九	九	一〇〇	一〇〇	一〇〇
					一〇〇	一〇〇	一〇〇			一〇〇
	前年度繰越金 百六十四千四百七厘		經費預金利子 五円八十六才			枯損木賣却代金 七千円		祈禱料金 九十九円九十才		

科 目		本年 決算高	本年 算高	比 較	附 記
第一欸 經費	四六七八	五四〇〇	〇〇	增	
第一項祭費	二五三八	二九〇〇	〇〇	減	大祭三回金十兩 中祭三回金十兩 小祭二回金十兩 計金三十兩
第一目神饌費	二五三七	三〇〇〇	〇〇		
第二目香具費	一〇〇〇	一〇〇〇	〇〇		
第三目雜用品費	一七九八	二〇〇〇	〇〇		雜用品費十七兩九十八文
第四目備人料	一八〇〇	一八〇〇	〇〇		助祭神職報酬大祭三四回 三人苑九人此金九兩 俵人九人此金九兩 計金九兩
第五目雜費	五〇一三	五〇〇〇	〇〇		直會費其他諸雜費金五十四兩十錢四三子備費九兩
第六目神職俸給	八四〇〇	八四〇〇	〇〇		社掌月俸七兩 一季分金八拾四兩
第七項雜給	七五〇〇	一五〇〇	〇〇		

[illegible]

	第三目備人料	四七	〇〇	三六	〇〇	一〇〇	境內採除料一十年分金三十九兩 其他境內三零七兩五錢五分土兩 計四十七兩一二〇〇予備費充用
	第三目苗木 購入費			一	〇〇	一	
第七項寄附金	第四目雜費	三三	四一	三五	〇〇	一五九	電信料其他 計金三十三兩四十五兩
	第六目補職金 寄附金	六	〇〇	六	〇〇		
第二欸營業總費				二五	〇〇	二五	
第一項修繕費	第一目修繕費			二五	〇〇	二五	
第三欸豫備費				五〇	〇〇		
第一項豫備費	第一目豫備費			五〇	〇〇		四一三樂典費雜費 一五九印刷費 一七五神符調製費 二〇〇境內外地旅費雜費 六元月入
第四欸積立金		一三〇	〇〇	一三〇	〇〇		

入間郡堀兼村大字堀兼

村社
堀兼神社

大正十二年度基本財産有價證券明細書

[illegible]

合 計		第二項 各種積立金	第一項 基本財產積立金
		第一目 隨身門外務積立金	第一目 基本財產積立金
六〇六七八	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇
七五	一〇〇〇	一〇〇〇	二〇〇〇
	〇〇	〇〇	〇〇
三八三			
百円	隨身門 座振改修積立金		社金、用途指定、寄附金、境内地收入、雜收入、百円以上、額、宣式格、円

計	現 在	
	勸業銀行債券 勸業銀行債券預 第10次銀行保護預	逓信省保管 勸業銀行債券
	五〇〇	一〇〇
	〇〇	〇〇
	一八	一八
	五〇〇	一八〇
	〇〇	〇〇
	〇〇	〇〇

大正十二年度基本財産現金明細書									
備考	計	現在	受				區 分	金 額	
			預 金	利 子	證 券 利 子 及 配 當	本年 度 積 立 金			
預金利子 大正十一年、十二年度合計ナリ 山口勸業銀行債券十枚ハ利子受入セズ	計	川越郵便局貯金	計						
	一四三五	一四三五	一四三五	八〇	二五〇	六六〇		〇七三	
	七五三	七五三	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇			

入間郡堀兼村大字堀兼

村社 堀兼神社

[illegible]

臣 分

備考

入間郡堀兼村大字堀兼

村社堀兼神社

區
分

7/11/13

大正十四年度基本財産現金明細書

區分	受				金	額
	前年度越高	本年度積立金	證券利子及配當	預金利子		
	一五〇四	二〇〇〇	六五四	一五二〇	一七四一	九九三
計					一七四一	九九三
現在					一七四一	九九三
川越郵便局貯金					一七四一	九九三
備考					一七四一	九九三
預金利子					一七四一	九九三
大正十三年度及去年度合計					一七四一	九九三

境内立木調書

樹種	目通	立丈以上	五尺以上	七尺以上	計
ハラモミ		立本			立本
檉		立本	五本	拾九本	拾本
檜			四本	拾九本	貳拾本
杉			五本	六拾九本	七拾四本
樅		立本	拾七本	拾七本	參拾本
檉			四本	參拾九本	四拾參本
雜			貳本	四拾本	四拾貳本
合計		四本	參拾貳本	百八拾七本	貳百貳拾參本

名木

審査狀

入間郡振兼村振兼神社境内

一 バラモミ

右本會ニ於テ審査ノ結果天然記念物トシテ
保存價值アルモノト認定ス

埼玉縣史蹟名勝天然物調査會長

埼玉縣内務部長書記官從五位勲六等今宿次雄

印

境内所々撮影寫真八葉

